



平成 24 年 7 月 20 日

各 位

会 社 名 森 下 仁 丹 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 駒 村 純 一
(コード番号 4524 東証、大証各第 2 部)
問 合 せ 先 取 締 役 常 務 執 行 役 員 武 貞 文 隆
電 話 番 号 06-6761-1131(代表)

本日の一部報道について

本日、一部の報道機関において、当社の独自素材の販売の取り組みに関する報道がありました
が、その内容に関しまして、下記の通りお知らせ致します。

当社では、長年に亘る生薬研究の成果として、安全性の情報と科学的エビデンスを備えた独自の
機能性素材を保有しており、自社製品への活用および機能性食品市場の活性化を目指してこれ
らの素材供給を行なっております。特に加齢に伴う諸症状の予防に関する素材など、当社の特許
素材を中心に積極的な販売活動を行なっております。

これまで、岡山大学（伊東秀之准教授）との共同研究において、「ザクロ」に特有のポリフェノ
ールにプレバイオ効果（ビフィズス菌の生存維持効果）があることを見出し、既に学会発表等
を通じて公表しておりますが、このザクロ由来のポリフェノールに、新たに抗糖化¹⁾機能を見出し、
2011 年 12 月に特許出願を行っております。

ザクロ（石榴）は、日本人には古くから親しみのある果実ですが、その栽培や機能性に関す
る研究が充分になされておらず、商業的利用が未開拓の素材です。当社では、数多くの機能性
素材に関して抗糖化作用を指標にスクリーニングを行い、ザクロに格段に強い抗糖化作用があ
ることを発見しました。現在は、産学連携を通じて、岡山大学（伊東秀之准教授）とザクロの
ポリフェノール成分の詳細な解析を行うとともに、城西大学（和田政裕教授）と抗糖化作用に
関する動物での評価を進めております。

今後は、さらに安全性やヒトでのエビデンスの充実化と学会発表等を通じた情報発信に努め、
2013年2月11日に迎える創立120周年記念事業の一環としての製品化と、さらには素材ビジネス
への展開を目指して参ります。

なお、当社は機能性食品に用いる独自素材のバルク販売を一層強化し、将来の業績への貢献が
期待されますが、本件の本年度業績に与える影響は軽微であり、公表値に変更はありません。

1) 抗糖化・・・最近の研究で肌の老化（特にシワの形成、ハリ低下、くすみなど）の原因の
一因としてコラーゲンと糖からメイラード反応により体内で生成される AGE（最終糖化産物）
が問題となっており、その発生を抑え、老化予防につなげる働きを抗糖化作用と呼びます。

以 上